

【利水】3) 水力発電は常時発電できないのか。

サンルダムは融雪期や洪水時の水を一時貯留し、下流に必要な流量を安定して補給する際に放流水の落差を有効利用して水力発電を行います。図-2 に示すように水力発電は他の電源と比較して非常に短い時間で発電が開始できること、電力需要の変化に素早く対応(出力調整)ができるといった特徴があります。このような特徴を生かして、貯水池による水力発電はピーク供給力として、なくてはならない重要な役割を果たしています。また、水力発電は、資源の少ない日本の貴重な純国産エネルギーであるとともに、時間、季節、天候に影響されず、安定的な電力を得ることができ、図-1 に示すように火力発電や風力発電等より CO<sub>2</sub> の排出量も少なく、クリーンなエネルギーを供給することができます。

なお、サンルダムは、ダム下流に対して適切な流量を補給するため、発電量に関わらず、流水の正常な機能の維持のための流量を確保することとなっています。

ダム建設に参画する利水者については、それぞれの事業者が、投資効果を適切に判断し参画しているものと考えています。

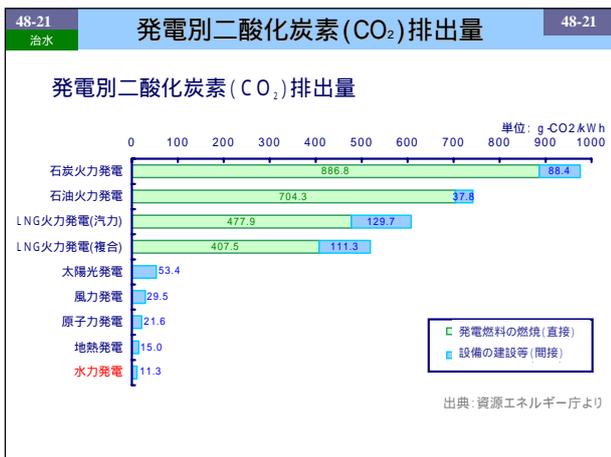


図-1

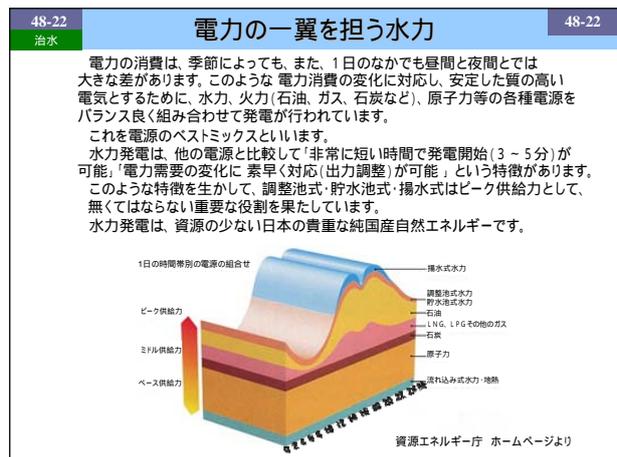


図-2